



2021年12月15日朝刊



【ジュネーブ共同】世界気象機関(WMO)は14日、ロシア極東サハ共和国のベルホヤンスクで昨年6月20日に観測された38度を、北極圏の観測史上最高気温と正式に認定した。南極半島にあるアルゼンチンのエスベランサ観測基地で昨年2月6日に観測された18・3度も今年7月、南極大陸の

北極圏で38度、最高と認定 昨年6月観測

過去最高気温とWMOが認定済み。南北両極での一連の記録更新について、タラスWMO事務局長は「気候変動への警鐘が鳴らされている」と懸念を示した。

WMOは米カリフォルニア州のデスバレーで昨年8月と今年7月に観測された54・4度が、今世紀の世界最高気温かどうかを精査中。過去には1913年にデスバレーで56・7度、31年にはチュニジアのケビリで55度が観測されているが、記録が古いため専門家からは疑義も出ている。

今年8月にイタリアのシチリア島で観測された48・8度も欧州の過去最高気温とみられ、WMOは検証を続けている。

- ①北極圏の観測史上最高気温と認定されたのは何度ですか。()度
- ②北極圏の観測史上最高気温が観測されたのはどこですか。
()
- ③南極大陸の過去最高気温は何度ですか。()度
- ④世界の最高気温が次々と更新されていくことについては、どのような考えがありますか。
()

年	組	名前
2019	1	山田 太郎
2019	2	山田 太郎
2019	3	山田 太郎
2019	4	山田 太郎
2019	5	山田 太郎
2019	6	山田 太郎
2019	7	山田 太郎
2019	8	山田 太郎
2019	9	山田 太郎
2019	10	山田 太郎
2019	11	山田 太郎
2019	12	山田 太郎
2019	13	山田 太郎
2019	14	山田 太郎
2019	15	山田 太郎
2019	16	山田 太郎
2019	17	山田 太郎
2019	18	山田 太郎
2019	19	山田 太郎
2019	20	山田 太郎
2019	21	山田 太郎
2019	22	山田 太郎
2019	23	山田 太郎
2019	24	山田 太郎
2019	25	山田 太郎
2019	26	山田 太郎
2019	27	山田 太郎
2019	28	山田 太郎
2019	29	山田 太郎
2019	30	山田 太郎
2019	31	山田 太郎
2019	32	山田 太郎
2019	33	山田 太郎
2019	34	山田 太郎
2019	35	山田 太郎
2019	36	山田 太郎
2019	37	山田 太郎
2019	38	山田 太郎
2019	39	山田 太郎
2019	40	山田 太郎
2019	41	山田 太郎
2019	42	山田 太郎
2019	43	山田 太郎
2019	44	山田 太郎
2019	45	山田 太郎
2019	46	山田 太郎
2019	47	山田 太郎
2019	48	山田 太郎
2019	49	山田 太郎
2019	50	山田 太郎
2019	51	山田 太郎
2019	52	山田 太郎
2019	53	山田 太郎
2019	54	山田 太郎
2019	55	山田 太郎
2019	56	山田 太郎
2019	57	山田 太郎
2019	58	山田 太郎
2019	59	山田 太郎
2019	60	山田 太郎
2019	61	山田 太郎
2019	62	山田 太郎
2019	63	山田 太郎
2019	64	山田 太郎
2019	65	山田 太郎
2019	66	山田 太郎
2019	67	山田 太郎
2019	68	山田 太郎
2019	69	山田 太郎
2019	70	山田 太郎
2019	71	山田 太郎
2019	72	山田 太郎
2019	73	山田 太郎
2019	74	山田 太郎
2019	75	山田 太郎
2019	76	山田 太郎
2019	77	山田 太郎
2019	78	山田 太郎
2019	79	山田 太郎
2019	80	山田 太郎
2019	81	山田 太郎
2019	82	山田 太郎
2019	83	山田 太郎
2019	84	山田 太郎
2019	85	山田 太郎
2019	86	山田 太郎
2019	87	山田 太郎
2019	88	山田 太郎
2019	89	山田 太郎
2019	90	山田 太郎
2019	91	山田 太郎
2019	92	山田 太郎
2019	93	山田 太郎
2019	94	山田 太郎
2019	95	山田 太郎
2019	96	山田 太郎
2019	97	山田 太郎
2019	98	山田 太郎
2019	99	山田 太郎
2019	100	山田 太郎

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2021年12月15日朝刊



【ジュネーブ共同】世界気象機関(WMO)は14日、ロシア極東サハ共和国のベルホヤンスクで昨年6月20日に観測された38度を、北極圏の観測史上最高気温と正式に認定した。南極半島にあるアルゼンチンのエスペランサ観測基地で昨年2月6日に観測された18・3度も今年7月、南極大陸の

北極圏で38度、最高と認定 昨年6月観測

過去最高気温とWMOが認定済み。南北両極での一連の記録更新について、タラスWMO事務局長は「気候変動への警鐘が鳴らされている」と懸念を示した。WMOは米カリフォルニア州のデスバレーで昨年8月と今年7月に観測された54・4度が、今世紀の世界最高気温かどうかを精査中。過去には1913年にデスバレーで56・7度、31年にはチュニジアのケビリで55度が観測されているが、記録が古いため専門家からは疑義も出ている。今年8月にイタリアのシチリア島で観測された48・8度も欧州の過去最高気温とみられ、WMOは検証を続けている。

- ①北極圏の観測史上最高気温と認定されたのは何度ですか。(**38**)度
- ②北極圏の観測史上最高気温が観測されたのはどこですか。
(**(ロシア極東サハ共和国の)ベルホヤンスク**)
- ③南極大陸の過去最高気温は何度ですか。(**18.3**)度
- ④世界の最高気温が次々と更新されていくことについては、どのような考えがありますか。
(**(例)「気候変動への警鐘が鳴らされている」という考えがある。**)

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校／理科、総合)